

令和2年度 名寄市議会 「市民との意見交換会」実施報告

名寄市議会では、議会及び議員の活動について理解を深めてもらうとともに、市政全般にわたって、議員及び市民が意見を交換するため、「市民との意見交換会」を年2回開催しています。

今回の意見交換会は、2班体制とし、7月14日、15日の2日間、市内4会場で開催しました。開催に当たり、より多くの市民の皆さんにご参加いただくため、『議会だより かわら版』を作成し、公共施設に掲示したほか、市内報道機関に対する記事掲載・ラジオ放送の依頼、市議会ホームページによる日程周知、さらには全議員が1人20枚の案内チラシを市民の皆さんに配布し、参加を呼び掛けました。また町内会長はじめ町内会の役員の方々にも周知にご協力いただくなど、ご協力くださいました多くの関係者の皆さんに心からお礼申し上げます。

今回の意見交換会には、延べ79名の参加がありました。ご参加いただき誠にありがとうございました。

ご参加の皆さんからは、新型コロナウイルス感染症対策、名寄振興公社の経営問題、名寄社協指定居宅介護支援事業所の業務監査、王子マテリア株式会社名寄工場生産品集約などに対して、ご意見やご要望などを数多くいただきましたことに、深く感謝を申し上げます。

お寄せいただいたご意見やご要望などについては、議員間の情報共有及び共通認識を図るため、8月31日に全議員参加による実施報告会を行ったほか、行政に対して、本実施報告により情報提供を行うとともに、議会だよりや市議会ホームページなどで市民の皆さんにお知らせします。

今後とも「市民との意見交換会」を開催することで、市民の皆さんとの情報共有を進め、市民の皆さんの貴重な声を政策提言できるよう努めてまいりますので、ご参加いただき、ご意見等をお寄せいただければ幸いです。

結びに、市民の皆さんが将来に希望を持てる名寄市の実現に向け、「市民に開かれた議会」を基盤とし、これからも議会運営及び議員活動の活性化を図ってまいりますので、引き続きご理解、ご協力をくださいますようお願い申し上げます。



【班体制及び担当会場】

《A班》

- 班長 東 千春（議長、市民福祉常任委員会委員）
班員 倉澤 宏（議会運営委員会副委員長、市民福祉常任委員会委員）
高橋 伸典（総務文教常任委員会委員長、議会報特別委員会委員）
高野美枝子（市民福祉常任委員会委員長、議会運営委員会委員）
黒井 徹（総務文教常任委員会委員、名寄市監査委員）
佐久間 誠（経済建設常任委員会副委員長、議会運営委員会委員）
遠藤 隆男（総務文教常任委員会委員、議会運営委員会委員）
五十嵐千絵（市民福祉常任委員会委員、議会報特別委員会委員）
今村 芳彦（経済建設常任委員会委員、議会運営委員会委員）

担当会場：智恵文多目的研修センター、名寄市民文化センター

《B班》

- 班長 佐藤 靖（副議長、総務文教常任委員会委員）
班員 塩田 昌彦（議会運営委員会委員長、経済建設常任委員会委員）
山田 典幸（経済建設常任委員会委員長、議会運営委員会委員）
川村 幸栄（市民福祉常任委員会委員、議会報特別委員会委員長）
東川 孝義（市民福祉常任委員会副委員長、議会運営委員会委員）
山崎真由美（総務文教常任委員会副委員長、議会報特別委員会副委員長）
清水 一夫（総務文教常任委員会委員）
富岡 達彦（経済建設常任委員会委員、議会報特別委員会委員）
三浦 勝秀（経済建設常任委員会委員、議会報特別委員会委員）

担当会場：駅前交流プラザ「よろーな」、ふうれん地域交流センター



【意見交換の主な内容】

各会場における意見交換の主な内容は次のとおりです。

A班－1 智恵文多目的研修センター 参加者 10人

◆名寄振興公社の問題について

問 監査は、決算報告書と通帳の照合だけではない。管理者あるいは担当も事業内容の間違い等については、指導等を行わなければならない。今後は、慎重に監査を行ってほしい。

答 振興公社は会社の運営自体ができていなかったため、専門家にも検証してもらいながら、決裁や経理などがしっかりできるようした。また経理がしっかりしても、売り上げを増やしていかなければならないので、両面を合わせてやっていくことを名寄振興公社のあり方に関する特別委員会で求めている。議会としては、これからもしっかりチェックしていく。

意 振興公社については、しっかりと管理されていると思っていたが、監事の意見等が反映されていなかったのではないかと。議会も力を入れてチェックしてほしい。

◆新型コロナウイルス感染症対策について

問 今後G・O・T・キャンペーンが始まるが、感染者が発生した場合の名寄市の体制は。

答 市立総合病院では、2月4日に感染症対策緊急会議を開催して以来、院内の対応を検討し続けている。コロナに対しては、北海道の保健所が主導になっていて、随時、色々な指導がおりてきているが、話を伺っていて、皆さんには伝わっていないのかなと思っている。名寄市では健康福祉部を中心として会議を重ねている。名寄市は幸いにしてまだ1名の感染者も出ていないが、これまでに市立総合病院で検査は行われており、その対応はしっかりできている。

問 観光で、東京、札幌等から夏休みを利用して人が訪れる。そういう中で、市立総合病院では、例えば何人位までを受け入れられるのかなどを考えなければならない。また報道によると、看護師の離職が増えているということである。このようなことに対して、どの程度考えているのか。

答 市立総合病院では、感染経路を隔離するようになっている。看護師の対応についても、当初はマスクもない、消毒液もないということで非常に危惧したが、今のところは稼働している。看護師も本当に緊張しながら、医療関係者全てが対応に当たっており、何かあった場合にはすぐに対応できる体制になっている。感染病棟には4床確保されており、さらに増えた場合は、救急治療室を使用すると先般の一般質問で確認している。

問 新型コロナの影響で、各種行事が中止、または形を変えて実施されているが、小さいまちのため、経済的損失はかなりあると思う。市では、市内飲食店で使用できるプレミアム付き商品券で、消費喚起を促そうと思っても、効果は一時的なものと思う。今後行われる対策等があれば、伺いたい。

答 追加経済対策として、「名寄市がんばる中小企業応援給付金」、第2次消費拡大支援事業「市内店舗で利用できるプレミアム付き商品券」等の市の事業を行うほか、国、道の支援策を活用する。また細かく支援策を講じなければならないということ

で、経済部を中心に調査なども行われている。

◆智恵文地区の信号機について

問 智南にタッチ式の信号機があるが、伸びた草にも反応し、信号が変わる。危険であるため、押しボタン式への変更を望む。

答 信号機は市ではなく、北海道公安委員会が管理している。地域で署名活動をするなど、安全対策の要望を公安委員会にした方が動く可能性があると思う。

意 子どもたちの通学路である智恵文小学校の入り口には、信号機がない。利用度が高いところに設置した方がよく、議会でも住民の意向を調べてほしい。

◆蜂の巣の駆除について

問 広報で読んだが、自宅敷地内にできた蜂の巣の駆除は、今年から住民自身で駆除してくださいということであった。行政の方は色々課題もあると思うが、やはり住民が安心して生活できることが、私たちにとっては最高の管理者と思う。市民を守ることを議員の皆さんにも考えてもらいたい。

答 広報なよろ7月号に「蜂の巣」駆除について掲載されているが、令和2年度から自宅敷地内にできた蜂の巣は、市で駆除は行わず、建物や土地の管理責任者において駆除をお願いしている。自身で駆除できない場合においては、費用負担の上、駆除業者へ直接依頼となる。市有地や空き家（空き地）にできた蜂の巣を発見した場合は、環境生活課（環境・生活安全係）へ連絡してもらいたい。なお、あくまでも自宅の分についてはお願いしたい。

◆有害鳥獣について

要 有害鳥獣の捕獲数は、今年かなり増えるのではないかと考えている。秋に向かって、しっかりとした対策をとってもらいたい。

◆空き家対策について

問 空き家対策において、智恵文にも空き家が多く、見栄えが悪いからというだけでなく、空き家は有害鳥獣（アライグマ・キツネ・タヌキ）のすみかになりやすい場となっており、そういった部分からも議会から追求してもらいたい。

答 市民との意見交換会があるので、市民部と空き家について打ち合わせをし、少し前進していきたいという答えをもらっている。今回皆さんからご意見をお聞きしたので、空き家についてこれからも追求するとともに、ご意見がありましたらお寄せいただきたい。

◆智恵文 I C の入り口について

要 高規格幹線道路 I C 入り口は、2車線が一般的であると思うが、名寄バイパスの智恵文 I C 入り口は1車線のため、事故等の危険性がある。安全面からも改善が必要であり、開発局へ要請してもらいたい。

A班－2 名寄市民文化センター 参加者 24人

◆新型コロナウイルス感染症対策について

問 コロナ対策では、一回感染者を隔離して、それからどうするかを考えないと感染は増大する。市として、議会として、議員として、感染者が出た場合は具体的にどうするのか。

病院は具体的にベッド数などを示してほしい。今の看護師と医師の数で十分な対応ができるのか示してほしい。テレビでは看護師にボーナスが当たらないから辞めるとの話もある。不安なので具体的に教えてほしい。

答 2月6日に名寄保健所主催で会議が開催され、圏域内の自治体、消防、警察等が集まり、協力体制等を確認してきており、名寄保健所の対応をみながら、緊急入院や検査などに対応できる体制をとっている。名寄市では、感染者はいまだに一人も出ていない。検査入院した方はいるが、全員陰性だった。

ベッド数は4床用意している。いつでも対応できる体制にはなっている。東京の看護師が400名ほど退職するという状況になっているとのことだが、名寄市では感染者が出ていないので、そのようなことは考えられない。

問 39℃の熱が出て市立病院に行くとしたら、別の通路から入るなどの対策をしているのか。

答 電話で確認してその時の症状や状況により対応していくと聞いている。

問 G・O・T・Oキャンペーンが実施される時には、拒否する自治体も出てきているようだが、名寄市は受け入れをどうするのか。感染者は今のところゼロなので不安な部分がある。

答 旅館・ホテル業界との協議を経てからの話になる。

問 コロナに関して、相談窓口は保健所と保健センターとなっている。保健センターに電話すると嫌がられそうで、保健所は電話しづらい。市民にとっては、まずは市役所であると思う。市役所が対応してから、その結果を保健所に照会するなどの対応が必要ではないか。市民にとってどんな対応が親切なのか、そこを議会でも話し合してほしい。

答 市民にとって一番頼りになるのは、市役所であり、保健センターであると思う。是非意見を反映していきたい。

◆名寄振興公社の問題について

問 振興公社に対する議会の対応を確認したい。問題の発生後、市長が最悪の場合、民間に委託もあり得ると言ったが、内容が違ってきていると思う。民間のノウハウを入れていくということと、民間にすることとが合致して見える。それが民間との協力ということなのか。市民にとっては浴場も無くなったし、バスも無料であるため、なよろサンピラー温泉を利用している人は多いと思う。将来的にどうなるのか。

議会として第三セクターにどのように関わっていくのか。あるいは一議員としてどのように参画していくのか。例えば、会議や研修で利用しているのか。

答 振興公社をどのようにしていくのか激しい議論があった。民間に任せの方がいいという意見もあった。日の出湯が閉店したので、サンピラー温泉を守っていくことが大きな課題だった。事件性も追求してきた。市の検証委員会の中で一定程度明ら

かになった。ピヤシリスキー場の持つポテンシャルを生かせれば、かなりの集客が可能であるが、コロナの影響で様々な大会が中止になり、実質フル稼働でやっていれば、黒字まではいかないまでもとんとんのところまで持っていた。議論を重ねた上、民間のノウハウを生かしながらやっていくとの結論を出した。議会でも今後守っていききたいとの思いから、議員会の中で活用している。個人でも温泉利用をさせてもらっている。市民の財産として守っていききたい。

問 今後のあるべき姿について、議会としても考え方を振興公社に反映していただきたい。どこまで改修するのかを考えた時、民間委託も視野に入れるべき。スキー人口も落ちてきている。部屋を良くして宿泊料を高くするのか。スキー合宿や大会を中心に扱うなら安くする方法もある。その方向性によってリニューアルの方法も変わってくる。振興公社の議論もあるが、スキー場、温浴施設の位置付けの議論も市民に分かるようにしていただきたい。

答 特別委員会で指摘の件について議論してきている。人口減の中で、市民をベースに施設をいかに有効に使うか。近隣の同様施設も苦戦しているが、圏域で協力しながらどのように盛り上げていくか、話し合いができないか。インバウンドは、コロナで長期にわたって見込めなくなった。具体的な改善はこれからである。

事務処理については、ほぼ正常になったが、これだけではスキー場、温泉を運営していけない。これからどのように利益を上げるのかについて、専門家にアドバイスをいただいている。インバウンドの計画があったが、しばらくは厳しい。専門家は自然体験をプログラムにした学習メニューが得意なので、アドバイスをいただきながら、夏場の利用の少ない時期に計画を作る予定。信頼できる会社があれば、民間委託も視野に入れていけるのでは。これからはしっかり見守りたい。

意 潰すわけにいかないことは承知しているが、どこかでケリを付けなければならぬ。市民の声を聞きながら、議会として提言してほしい。

◆名寄振興公社の事業について

意 振興公社の件で、大自然の活用はどこまでできていると思うか。美深では近隣をバスでまわるプログラムもあるが、市で持ってる施設があるので、振興公社が窓口になって有効活用すると良いのでは。体験プログラムはどこが窓口になっているのかわからないから探すのに苦労した。地元の子もたちでさえ知らないから体験ができていない。付近には景色の良いところがたくさんあるからうまく計画を立てていくと、もっとホテルが使える。振興公社の事業としてできたら良いのでは。市民も知らないところを掘り起こして、素晴らしい場所を巡るツアーをし、名寄を活用していけばと思う。

答 貴重な提言として受け止める。

◆ノースタウンの除雪について

要 毎年ノースタウンの除雪を町内会でやってきたが、中央の建物が邪魔になり、除雪作業に支障をきたしているのを、改善してほしい。

答 この問題を以前一般質問で取り上げた。このような要請があったことを担当に伝えたが、除雪の時にドーザーの車高が高く、東西に抜けられない。また花壇もジグザグに配置されているという問題がある。その時の一般質問に対する回答は、「花壇は景観を考えて作ったもので、改めて予算をつけられない。高さ2.5mの鉄骨でできた雨除けの構造物だが、中心部を取ると構造上の強度に問題が出る。」であっ

た。

問 柱が4本あるので、それさえ残せば問題ないと思うが。

答 屋根だけ外すということも含めて、改めて要請があったことを所管に伝えたい。

◆議員定数等について

問 議員定数問題について。毎回出てくる問題だが、一番市民が関心を持っている。各議員の良識ある判断で議論していただきたい。

答 議会運営委員会で議論しており、来年の3月を目途に方向性を出す。報酬の議論も同じく進めていきたい。

意 議員を減らせば、一人当たりの報酬が多くなる。

B班－1 駅前交流プラザ「よろーな」 参加者 20人

◆名寄社協指定居宅介護支援事業所の問題について

問 社会福祉協議会の問題では、なぜ大きな金額を使うことになったのか。

答 昨年11月8日、「サービス提供が適切に行われていない」ことから、市で監査をすることになった。その結果、やっていないのにやったと報告するなど、居宅介護支援事業所で適切な業務が行われていなかった。指導事項は6項目にのぼり、「居宅を訪問しない。訪問記録がない。サービス担当者会議を行っていない。」などの不正な行為が行われていた。しかし、議会が社協の問題に入っていくことはできない。

問 返還されたことはわかるが、何のためにこのようなことをしたのか。給料が安いからなのか。

答 返還すべき金額は返還された。なぜこのようなことをしてきたのか、社協で調査中である。

問 社会福祉協議会の問題で、ケアマネージャーは辞めればそれで終わりか。市が肩代わりして払うのはおかしい。当事者に弁済させる必要があるのではないか。

答 名寄市が支出しているものではない。社協が返済したもので、社協の問題に議会が入っていくことはできない。

◆王子マテリア(株)名寄工場生産品集約について

問 王子マテリア跡地はどうなっていくのか。

答 王子マテリア跡地の広さは、南広場の16倍である。跡地利用の考え方に注視している。来年9月にマシンを停止し、12月には稼働停止となる。従業員への対応も必要である。

問 王子マテリアの従業員のことを考えると、企業が入れ替わったとしたら従業員は結構少なくなる。工場跡地にはデータセンターではなく、カルビーなどの生産工場を名寄に誘致した方が法人税も入るし、雇用も生まれる。長いスパンで考えていた

だきたいがいかがか。

答 跡地利用について建設的な意見をいただいた。再生可能エネルギー、物流・防災拠点、IoTデータセンターの3つを大きな柱にし、今取り組んでいるが、伺ったことをしっかり伝えていきたい。

要 名寄も北海道で5番目に住みやすいまちになったので、せっかく外から来た人が長く住めるように、雇用もきちんとして、せっかく来たのになんだこのまちはと帰らないよう、皆さんに頑張っていたきたい。

◆路面状態について

問 旧公設地方卸売市場～下水処理場～徳田ショッピングセンターに続く道路は、白線が消えているが。

答 所管する建設水道部で道路の凸凹を改修したが、現地を確認するなどの対応を求めたい。道路の改修は財政上の課題があり、国の助成でやってきている。昨年から名寄市単費でも取り組んでいるが、財政的には厳しい。担当課では認識している。

◆町内会未加入について

問 町内会への未加入が多い。解決できないか。

答 町内会未加入は、どこの町内会でも課題である。町内会連合会と行政も協議している。任期中に方向性が見出せるよう議論を進めていきたい。

◆名寄市への誘客について

問 振興公社に人を呼ぶ方法として、比布町のいちご狩りや旭川市のトマト狩りのようなことは、名寄市でもできないか。ミニトマト狩りもいいと思うが。

答 名寄の農産物は味も品質も優れている。この地域の特性、特色を生かして、多くの人に訪れてもらえるように、参考意見として受け止める。

◆農産物の生産について

問 トマトやいちごを名寄で作れないか。今、仲間で無農薬のトマトを買ってきて、食べている。無農薬のものを食べながら体をがっちり作っていかなければならない。昔はアトピーなどなかった。もっと食のことを考えた方がいい。

答 人間本来の原点に立ち返るべきということを話していただいた。貴重な意見を踏まえ、取り組んでいきたい。

◆スポーツ大会の応援について

問 夏季も冬季も、スポーツ大会にお客さんがなかなか来てくれないという実情がある。名寄市民が一層盛り上げて気運を作っていくと、うまくいかないのではないか。議員の力で盛り上げてほしい。

答 市民の応援体制については、ここ何年か各会場でよく言われること。市とどのように連携しながら市民の皆さんにアピールし、一緒に応援していく体制を構築していくかについて、大きな課題と受け止め、頑張る。

◆名寄高校と名寄産業高校の再編整備について

問 両校の再編整備については、一貫して統合で進められてきている。話し合いをしている在り方検討会議のメンバー構成をみると、教員は入っていないし、両校の校長がオブザーバーで入っているだけ。保護者も入っていないという狭い人員の中で

論議をして、それがまるで名寄市の意見のようにして、道教委にあげられている状況がある。2校の在り方については、オープンな場で論議するべきだということを市に強く要望しているが、行われず、統合ありきで、市としては7月に要望書を出すという報道がされている。市議会としてどのように考えているのか。

答 7月に道教委に対して出される、公立高等学校配置計画に関する要望書の内容について、次の総務文教常任委員会で説明を求めることにしており、今まで議会と在り方検討会議が連携をとれていなかった。これについては、議会としても名寄市の教育全体を検討するという考え方において、きちんと精査していかなくてはならないと申し入れをしたばかりである。考え方としては、地元からしっかり現場や子ども達の将来を考えて要望をあげた方がいいという判断の中で、在り方検討会議が設置され、動いているとは伺っている。具体的な説明を市議会として聞いていないことについて、しっかり状況を把握して進めていきたい。

問 2018年に市議会として、これに対してはっきりと批判をし、北海道の広域性にきちんと配慮した小規模校は小規模校として、地元の学校は残すということをするべきだと明確な文書を出しているが、これはどうなってしまったのか。

答 名寄市は教育都市宣言をしている。道立であっても、名寄市の教育について意見書も出してきた。しかし、経過についての確認が不十分であった。もう一度、現時点で名寄の教育をどうしていくのか、名寄の子ども達の健やかな教育をどうしていくのかということ、原点に立ち返り、みんなで考えていきたいと思う。

◆広報なよろについて

問 紙の媒体自体はなくすことはできないと思うが、ネットを使ってラインなどで広報を送信して、少しでも発行部数を減らし、浮いたお金をカーリングなど、スポーツにお金をかけてはどうか。名寄市でも通年使えるカーリング場にして、オリンピック選手が出てくれれば、スポーツももっと盛り上がるのではないか。是非スポーツにもお金をかけていただいて、人が呼べるようにしてほしい。

答 広報の関係はそのとおりだが、実は名寄は高齢化が相当進んでいる。色々な媒体を使うという方法も一つだし、もっと読みやすい形をつくるということも一つである。大きな課題である。昨年、名寄市で大きな課題が浮上した時に、市民の皆さんにしっかり実情を分かっていたくためには、全戸配布の広報の役割は大きい。

◆名寄市議会について

問 今、2万7千人を確実に切っている。そしてこのままいくと、残念ながら人口的にも、経済的にも、社会的にもどんどん後退をしていく。この現状の中、議会ももう一回、今までの対応で議会の役割を果たすことができるのかということについて、一堂に会して皆さんで率直に意見交換をしてもらいたい。

答 今、議会運営委員会を中心に議会改革をやっている。市民の皆さんの関心はやはり過去3回の選挙の例、無競争、無競争、一人オーバーということで、状況からいったら定数削減も必要だろうという声はあると思う。決して我々もその議論は避けようとは思っていないが、定数削減が議会改革の終着点ではないと思っている。本当に議会がどうやって活性化して動いていくのか、市長と二元代表制の一翼を担う議会として、しっかり理事者側と意見をぶつけ合って闘っていけるのか、市民の皆さんの声をしっかり反映させられるのか、という原点を今回の議会改革の議論の中でしっかり見据えていきたい。

意 来年とか言うと、またただらだといく。1年、2年と、かかる問題ではない。早速取り組んでほしい。

B班－2 ふうれん地域交流センター 参加者 25人

◆名寄振興公社の問題について

問 議会としては冬季スポーツの拠点化、さらには住民の健康増進に不可欠という判断をした中で、一応の結論が出たと聞いている。今回のコロナウイルスの影響によるスキー場と宿泊部門の不採算1,000万円、さらにはスキー場と宿泊部門を一体として考えた場合の恒常的な不採算1,500万円、合わせて2,500万円だが、これについては、今回の補正で終わるのか、それとも来年も続くのか伺いたい。

答 今回の2,500万円は、公社だけではどうしても自力で乗り切れないという考え方で、あくまでも公社が自立に向かう支援の金額である。現段階で、続く・続かないという答えはできる状況にない。再生のスタート台に乗る過程での取り組みと理解をいただきたい。

意 今までの運営に無理があると感じている。二度とこのようなことが起こらないように適正な額の委託ということで、議会としての対応をお願いしたい。

答 特別委員会は解散したが、所管の経済建設常任委員会で議論していくことになる。今回のコロナウイルスの影響が今後どのように振興公社の経営に関わっていくのか、あるいはさらに指定管理料をどのようにしていくのか、まだまだ議論していかなければならないと思う。しっかり考えて市民の皆さんが納得できるような方向性を見出ししていく。

問 資料の委員長報告のポイントについて説明いただきたい。公社としてのハンドリングとは何のことか。さらに、第三セクターを管理運営する制度的なところとは何を意味するのか。また今後の市と公社の両輪を合致させる事業展開とは、何を意味するのか知りたい。それを了として2,500万円を可決したわけだが、これだけ見る限りではこんな曖昧なというか、抽象的な答弁で、どうして納得できるのか。その点の説明をいただきたい。

答 特別委員会では、経営形態、施設整備、振興公社のあり方と、大きく3つの視点で議論を進めてきた。

経営形態では、各施設の指定管理料について、今のやり方で本当に正しいのか、公募も検討する必要があるのではないかと議論を進めてきた。新たな体制として橋本副市長が社長になってから、ガバナンス、コンプライアンスなどの見直しをしているが、組織、人員体制などの見直しを進めるに当たっては、期限を決めて組織体制の構築を進めていただきたいということと、民間のノウハウを有する経営のトップを含めた人員の確保、役員報酬を払う一方で責任も明確につけていくことを経営形態の中でまとめた。

施設整備では、スキー場及び温浴施設について、公共性、公益性という視点では利用者の安全に配慮して進めていただきたい。昨年9月に男性浴場の天井が落下したこともあったので、そのようなことも含めて安全に十分配慮してほしいとした。温浴施設については、過去にこの問題が出る前に基本設計をしたが、実施設計は昨年で止まっている。当然その部分にお金がかかっているのに、無駄にすることなく、

温浴施設は早期の改修を求めていく。宿泊施設では、スキー場とか合宿の兼ね合いの中で、今後検討を加えてほしいとした。スキー場では、昨年も人の状況で第4ロマンズリフトを停止した。今後の状況を見ながら第4ロマンズリフトやナイターの営業についても、十分検討を加えていただきたいとした。索道施設については、かなり老朽化している。今後計画的な維持補修と更新について、しっかりと検討を加えていただきたいとした。

振興公社のあり方だが、これは昨年来、色々な不祥事があったということに対して、会計とか経営に関する問題点の整理をしっかりと進めていただきたい。失った信用を回復することは非常に大変なことなので、令和2年の経営方針に基づいた中期計画を早急に策定していただきたいとした。第三セクターとしての運営継続を進めていく場合に、出資比率、事業内容、コスト負担を明確にすること。振興公社は6部門で事業が行われているが、今回初めて6部門のセグメント別の資料が出てきた。今後どのような管理をしていくのかということも、特別委員会の中で提案している。長期的な視野に立って、スキー場運営については、名寄市だけではなくて、広域的な取り組みも必要ではないかということでもまとめた。いずれにしても、今の振興公社は色々な施設を持って運営しているが、名寄市の施策の中の重要な施設を持っているということである。

2,500万円については、協定書の中にリスク分担という項目があり、公社自体も自助努力、営業努力をしながら進めていく中で、補助金ではなく指定管理料として提案された。振興公社のコンプライアンス、ガバナンスを含めた株式会社としての機能不足、行政としても第三セクターとの関りでの不足した部分をしっかりと話していただいた中で、補正予算の可決をしたので理解をいただきたい。

◆名寄社協指定居宅介護支援事業所の問題について

問 行政指導による1億2,076万7千円の自主返還と伺った。この額は市の中でどのように処理するのか。一般会計に繰り入れて終わりか。それとも私達の介護保険の中の一部と思うが、処理の仕方について議会としてどのように考えているのか。

答 行政処分は774万4,352円、自主返還は1億2,076万7,330円だが、これは名寄市の負担ではなく、社協で支出をしたお金である。あくまでも社協の中での色々な問題であり、社協の中で特別委員会が設置され、その中で今議論が深められていると聞いている。その部分には議会としても入っていけないので、理解をいただきたい。

要 1億2,000万円相当の額が自主返還された。これらについては、市で受けたのだろうが、その中にはやはり介護保険も入っている。議会として報告を受けた際には、改めて我々にその中身についてお知らせ願いたい。

答 市で受け入れた1億2,000万円については、所管の市民福祉常任委員会で確認していききたい。

問 あったことは絶対間違いであり、これからもきつく正してもらわないとならない。しかし現場の第一線で働いている人は、本当に苦勞してお年寄りのところを訪問し、地道に頑張ってくれている。「ケアマネも一時大変だったが良かった」と言って、努力をみんなに認めてもらえるような方向に持って行っていただければと思う。

答 言われるとおりである。今この一連の関係を含めて、事務局長不在の状況が続いている。そういう意味からしても、体制をしっかりと構築をする支援を行政側もして

いかなければならないし、結果的には居宅介護を受けている方々への影響を最大限少なくするということが我々の使命と思っている。宿題として受け止めさせていただく。

◆新型コロナウイルス感染症対策について

問 国から莫大なお金が出ているし、各市町村もいっぱいお金を出している。今後どうなっていくのか。

答 今行っている新型コロナウイルス関係の経済対策について、市としては先に1億3,000万円位出したが、その後に国から1億7,000万円位きた。本当に国から来るお金だけで名寄市の経済がもつのか、もたないのかということを見据えていかななくてはならない。幸い名寄市は、財政調整基金などへの積立額が約100億円あるので、その有効活用ということも一つ考えていかなければならない。将来の財政負担に対する積み立てと思っていたが、ある意味で効果的な対策は独自でもやっていかなければいけない。

問 今回のコロナの感染騒動については、国の方針も、道の方針もあるでしょう。しかし名寄独自のある程度の緩和措置を取れないのか。

答 いつまでこの状況が続くのかという心配がある。今、名寄市は対策本部の中で、国、あるいは道の方針に基づいて、北海道スタイルでやっているが、どのようにやるのが市内の色々な活動を停滞させないで、なおかつそれぞれの楽しさや生きがいを見出していけるか、というスタイルを検討する時期に来ているという気がしないでもない。持ち帰って、考えていきたい。

◆国道の防雪柵設置について

問 風連の市街地から名寄の境界20線は、非常に雪が吹き込む。国道で何年か前も車が渋滞して通れなかったことがあった。風連市街地の外れから名寄の20線までの防雪柵設置を、議会・行政との連携の中で国に早急をお願いしてもらいたい。

答 国道40号の吹雪時の道路の状態というのは十分わかっており、特に今年はJRも防風林を全部切ったので心配している。交通事故をどうやって防いでいくかは大きな課題であるので、どうにか有効な手立てをしていかなければならない。所管の経済建設常任委員会で考えていく。

◆空き家対策について

問 市街地、また農村部においても空き家が相当目立つようになってきている。大雨又は暴風などで、屋根とか壁が散乱する可能性もあるし、特に子どもなどが通行すると被害に遭う可能性もある。具体的には、風連の市街地に実は何軒かある。空き家対策委員として色々と申し上げたが、地権者との関係があり、なかなか進んでいないようだ。行政と議会で協議していただいて、なるべく早急に解決してもらおうよう検討いただきたい。

答 空き家のことは当然風連のみならず、名寄もそうだ。私の町内会にも潰れた家があるが、やはり地権者がわからない。探っていくてもどこがどうなっているのかわからない。市として、美観や住民の安全上を含め、考えていかなければいけない課題である。宿題と受け止めて、今後の議会活動の中でやっていきたい。

◆名寄市がんばる中小企業応援給付金について

問 商工業協同組合でポポちゃんカードを発行している。ポポちゃんカードは加盟店の何十軒かの売り上げに応じて、加盟店が負担金を組織に入れ、各種の活動をしているわけだが、加盟店の売り上げが下がると活動資金がなくなってきて、風連地区の色々なイベント、子ども会に対する支援金事業などができなくなる。何とかカードで頑張っていて、大型店に対抗していこうという組織であり、昨年度比何十%か落ちているので、このままでは組織が運営できなくなって、存続も危うくなってくる。がんばる中小企業応援給付金で、ある程度お願いできないかということで、打診をしたところ、あくまでもこれは中小企業基本法に則った中小企業を対象なので、組合とかは対象外という返事を商工会の担当者からいただいた。地域の事情に応じて柔軟な対応をしていただけないか。

答 経済建設常任委員会所管ということで承った。そういった行政に対して要請をされているのも情報として聞いている。検討してないわけではないと思うし、改めて今回の意見交換会で意見をいただいたということで行政側に伝える。

◆ピヤシリスキー場の運営について

意 先ほどロマンスリフトが人員不足で動かなかったとあったが、何で足りていないか分かっているか。12月、3月はスキー場が全部稼働しないので、給料は安いし、人手もいらなくなる。月6万位しか稼げない人が多々いる。そんな額なら休んでいたいと思う。そういうところから改善していったらいいと思っている。今の状態で振興公社が自力で回収できるとは思えない。外部から色々な人の意見を聞いてやっているとは思いますが、スキー場に関して言えば、私の先輩もスノーボードの大会を誘致するなど、色々やっている。人が外部から来てくれるだけで、経済効果はあると思う。そういうことを現場の人間とパイプをちゃんとつないで、市としてもそこにお金をつぎ込めるなら、屋根が落ちる温泉を直すより経済効果はあると思う。

答 これまで振興公社については、議会に経営状況を報告するというところだけしかなかった。これからは色々な面で浮き彫りにしていったらいいと思う。名寄の冬季スポーツの核、あるいは観光の核であるスキー場をどうやって残し、やっていくのか、原点に戻って一から見直す時間を与えていただいたと思っている。一人でも多くの皆さんが理解できて、協力できて、なおかつ楽しい名寄市になっていくように努力していきたい。

◆議会だよりについて

問 本日配布された議会だよりにアンケートが記載されているが、あなたの年齢はというところで、これから名寄市を担っていかなければならない20代、30代、40代、この数はだいぶ少ない。議会だよりが若い人に分かりやすくするような努力や、若者にも興味を引くような市政をやってもらいたい。

答 私たちが基本としていることは、中学生、高校生の方々が読んでいただいているように、振り仮名等も含めて検討しているところであるが、今の意見をしっかり受け止め、検討していきたい。

◆水道水について

問 待望の水道水が風連に来ることになった。以前からみて、塩素の量がどれ位減っているのか教えてほしい。

答 水道水の関係は、経済建設常任委員会所管ということで、塩素の減った量、数値等を確認して、後日回答する。(後日回答済み)

令和2年度（第1回）「市民との意見交換会」アンケート結果

ご回答いただきましたアンケートの集約結果は次のとおりです。
またご回答いただいた市民の皆様は69人で、回答率は87.3%となっています。
※（ ）の数字は回答者数です。

問1 あなたの年齢は？

- ①20代（0人） ②30代（3人） ③40代（4人） ④50代（6人）
⑤60代（20人） ⑥70代以上（36人） 未回答（10人）

問2 あなたの性別は？

- 男（55人） 女（11人） 未回答（13人）

問3 今回を含め、これまでに『市民との意見交換会』及び『議会報告会』に何回出席したことがありますか？

- ①初めて（14人） ②2回（13人） ③3回（7人） ④4回（3人）
⑤5回以上（31人） 未回答（11人）

問4 今回の『市民との意見交換会』の内容はどうでしたか？

- （全体的に）①よかった（25人） ②ふつう（29人） ③よくなかった（2人）
未回答（23人）

- （報告内容は）①わかりやすかった（19人） ②ふつう（31人）
③わかりづらかった（4人） 未回答（25人）

- （意見交換内容は）①よかった（28人） ②ふつう（22人） ③よくなかった（1人）
未回答（28人）

※今後、市民との意見交換会について改善すべきことがあればお書きください。

- ・各会場に出席する市民が少ない。（2件）
- ・特に女性の出席をもっとアピールするべき。
- ・若い世代の参加を促すこと。（2件）
- ・名前が分からないので議員や席にネームをつけてほしい。
- ・ただ、意見や要望をぶつけて述べるのではなく、具体的な項目を1、2点要望した方が分かりやすく聞く方も分かりやすい。長々と話しては誰も聞いていない。
- ・現在の交換会ではなく、議会報告を聞いて議員を入れてグループ別に交ざりあって意見などが出来る会でもいいと思う。
- ・時間が短い。（5件）
- ・議員の自己紹介は必要ないと思う。
- ・意見交換ということで市民の声を広く聴くという意味では、いつも特定の人発言が多く残念。
- ・たまにジングスカンを囲みながらも良いかも。
- ・事前に質問事項などを取って開催すると、もう少し質問が出るのかなと思った。（2件）
- ・たくさん意見を出してほしいと言いつつ時間を決めるのはおかしい。せめて意見があれば21時までお願いしたい。
- ・資料はもっと簡潔にしてほしい。

問5 議会だよりはお読みになりますか？

- ①毎回読んでいる（44人） ②たまに読んでいる（24人） ③読まない（0人）
未回答（11人）

問6 議会ホームページはご覧になりますか？

- ①よく見ている（6人） ②たまに見ている（28人）
③まったく見ない（23人） ④見方がわからない（1人）
⑤見る手段がない（10人） 未回答（11人）

問7 議会中継（同時中継、録画中継を含め）はご覧になったことがありますか？

- ①よく見ている（7人） ②たまに見ている（17人） ③まったく見ない（31人）
④見方がわからない（1人） ⑤見る手段がない（11人） 未回答（12人）

問8 議会の傍聴したことがありますか？

- ①傍聴したことがある（25人）（平均2.8回程度）
②傍聴したことがない（44人） 未回答（10人）

問9 議会に対してご意見等があれば、自由にお書きください。

- ・市民生活の安全と、安心できるようにこれからも願います。
- ・「市民との意見交換会」で参加者の質問に丁寧に答えようとする姿勢は伺われた。
- ・市長としっかり対峙する議会であってほしい。
- ・議員は大変苦勞して活動していると思うが、市民から見るとやっぱり分からない。
- ・鉄道の廃止は名寄までなのか、旭川までなのか。名寄以北の物流の拠点にはならないのか。
- ・今後の議員の活動を期待する。
- ・王子マテリアの工業用水は将来的にも活用し、環境保全のため豊栄側に流し続けてほしい。
- ・カーリング場の利用期間を延ばしてほしい。
- ・議会は行政との両輪なので、お互い切磋琢磨して協力し合って前進してください。議会を信じている。今後は老人問題関連について充実を願っている。
- ・日頃の議会活動大変ご苦勞様。議会だよりも毎回見ている。
- ・議会がリーダーシップを取るような元気を出してほしい。
- ・みんなが選挙で選んだ市議会議員の活躍している姿を見て意見交換ができ、私は本当にこの人に1票入れて良かったと思う。
- ・社協が事業所取り消しにならなかったこと、今、民間事業所で同じ事例が出た場合には、取り消しを行えないこととなるが、議会としてどの様に考えるか。
- ・広報や議会だよりは右綴じだが、会議資料はほとんど左綴じあるが統一出来ないのか。
- ・形式的なものにならず市民のため議会！という意識でこれからも頑張してほしい。
- ・2度の冬季国体を開催し、かつて小中学校ではスキー市技指定の取組があった。数年前には各学校に電子黒板が配備された等記憶しているが、効果等の広報もなく有耶無耶のうちに忘れられている気がする。もっと丁寧な対応をしてほしい。
- ・なかなか議会傍聴の機会がなく、今回の様な意見交換会は聞きやすく非常に良いことであり為になった。（2件）
- ・地元観光があっても良いと思う。

- 議員定数2名減はどうか。
- 王子マテリア撤退のため、若い世代の町内会人口減は残念。名寄での就職先をお願いしたい。
- (株)名寄振興公社の今後のあり方については大変難しいことだが、議会、議員として市民の声を大きく反映してほしい。
- 名寄市の人口減少傾向がみられる。王子マテリアの撤退で更に拍車がかかるのでは。人口減少を最低限収まるような施策を議会として推し進めてほしい。
- 名寄市をよろしく願います。
- 議員定数についてじっくり考えてほしい。
- もっと市長と連動して行動的になってほしい。